

## 2. 芸術文化館に係る検討

### (1) 現状と課題

#### ◆現状

- ・市内には、「しが県民芸術創造館」や「草津アマカホール」があります。
- ・いずれの施設にもホールやリハーサル室、練習室などの機能が備わっており、稼働率は、概ね50%~70%となっています。
- ・草津市美術展覧会及び草津市青少年美術展覧会については、市役所2階特大会議室で行っています。

#### ◆課題

- ・芸術文化機能に係る利用者ニーズとして、音楽練習の場が不足しているという声が多くあります。
- ・草津アマカホールには、本格的な練習室はありません。
- ・しが県民芸術創造館には3つの練習室がありますが、音楽の練習等を想定した施設ではないことから、防音機能が不十分で、音楽の練習等には不向きです。
- ・草津市美術展覧会等は、その規模の大きさから、創造館の展示ホール等で開催することができない状況です。このため、市役所2階特大会議室で開催していますが、当該施設が、本来、美術品等の展示の使用を目的とした施設ではないことから、美術展覧会の会場として適していません。

## (2) 必要性の検討

(仮称) 市民文化の森基本計画の基本理念や基本方針を踏まえつつ、必要な機能を確保することを基本としますが、しが県民芸術創造館の本市への移管や、アミカホールを含めた既存施設の利用実態等も考慮しながら、機能ごとに検証を行います。

(仮称) 市民文化の森基本計画

### <基本理念>

芸術・文化を育み、接し、参加できる、芸術・文化の創造と発信の拠点をつくります。

### <基本方針>

- ・練習する場、発表する場、創作する場、展示する場の設置
- ・250 席ホールの設置

## ① ホール機能（ホールに付随する倉庫、控室を含む）に係る検証

既存施設の利用効率を高めることで対応可能（新たなホールの整備は行わない）

### ◆利用者ニーズからの検証

- ・平成 24 年度 第 4 回草津市 21 世紀文化芸術推進協議会役員会で草津市の文化芸術の振興方策、施設整備の方向性に係る意見交換を行った結果、利用者からは、「発表の場（ホール）よりも練習の場がほしい」という声が多くあります。

### ◆しが県民芸術創造館の移管を踏まえた検証

- ・当該施設が本市へ移管されることで、これまで実施されてきた県の自主事業が減少し、ホールの利用時間や利用可能日が拡大すると想定されます。
- ・平成 23 年度の実績では、自主事業を除く貸館利用の稼働率が 55.0%となっており、市民の日常的な利用に対する機会（利用可能日）が拡大すると考えられます。

表－しが県民芸術創造館の施設別目的別年間稼働率（平成 23 年度実績）

施設名	利用可能日	自主		貸館		合計	
		稼働日	稼働率	稼働日	稼働率	稼働日	稼働率
ホール	291 日	47 日	16.2%	160 日	55.0%	207 日	71.1%

- ・しが県民芸術創造館の本市への移管により、しが県民芸術創造館とアミカホールの両ホールの性格を活かした、効果的なホール運営が可能となります。
- ・一方、しが県民芸術創造館の移管を受けることで、管理運営費などの新たな財政負担が生じることが予想されることから、本施設を有効に活用していくことが、大前提となります。
- ・また、利用者のニーズとして、発表の場（ホール）より練習の場がほしいという声が多くあります。
- ・このような状況から、新たなホール機能を整備するよりも、練習機能を確保することに重視していくものとします。

### ◆既存施設の利用実態からの検証

- ・アミカホールでは、市民利用の予約の後に自主事業を計画しています。
- ・このような状況下で、貸館（市民利用）の稼働率は47.2%となっています。

表－アミカホールの施設別年間稼働率（平成 23 年度実績）

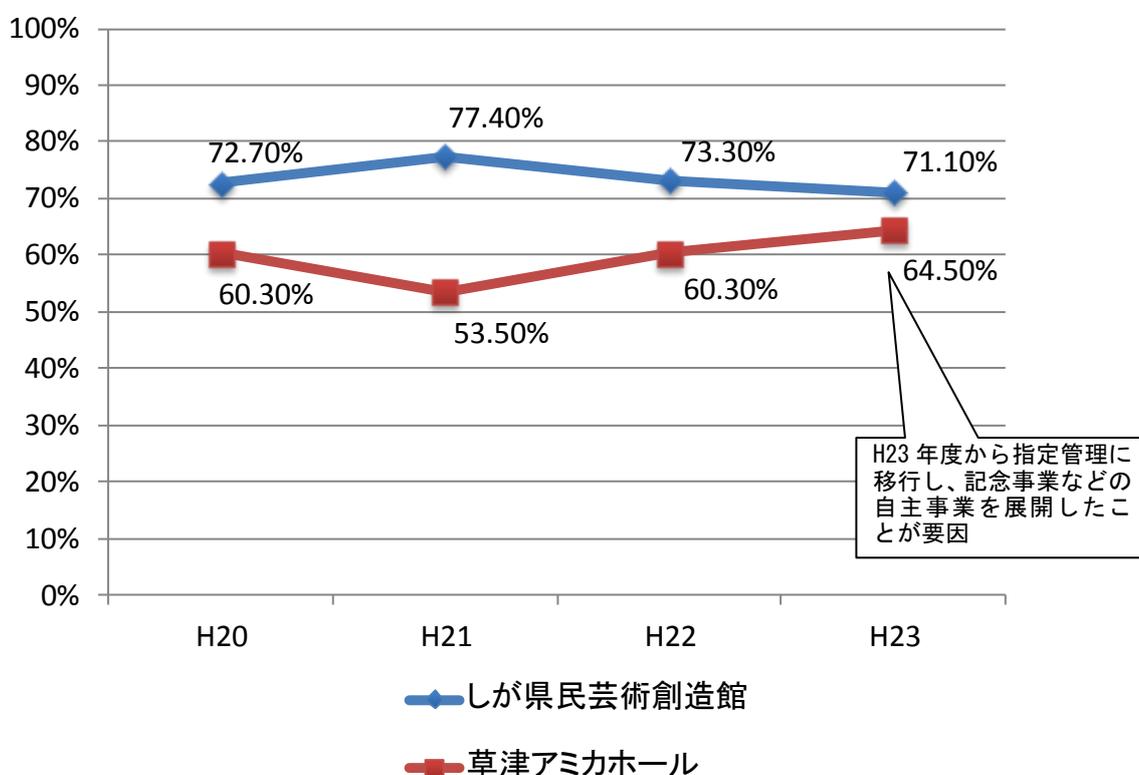
施設名	利用可能日	自主		貸館		合計	
		稼働日	稼働率	稼働日	稼働率	稼働日	稼働率
ホール	307 日	58 日	18.9%	145 日	47.2%	198 日	64.5%

### ◆既存施設における稼働率の経年変化からの検証

- ・しが県民芸術創造館とアミカホールにおける平成 20 年度からの稼働率に係る経年変化をみると、多少の増減はあるもののほぼ横ばいの状況であり、今後も同程度の稼働率で推移すると考えられます。

表－創造館とアミカホールにおけるホールの稼働率の経年変化

施設名	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
しが県民芸術創造館	72.7%	77.4%	73.3%	71.1%
草津アミカホール	60.3%	53.5%	60.3%	64.5%

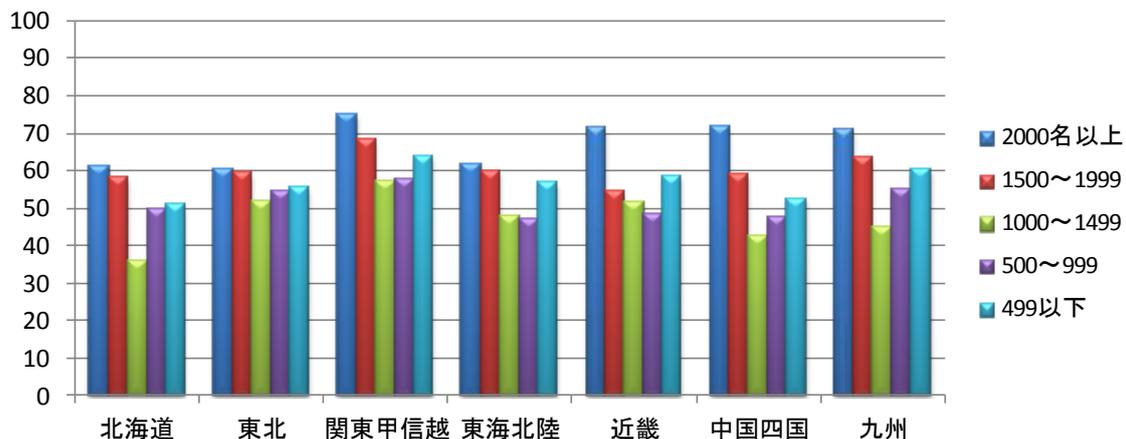


## ◆ホールの稼働率からの検証

- ・社団法人全国公立文化施設協会が実施している「公立文化施設現況調査」では、全国の公立文化施設を対象とした、規模別ホール稼働率調査を行っています。
- ・平成 17 年度の調査結果を見ると、2,000 席以上の大規模施設の稼働率が比較的高い傾向が覗える他、しが県民芸術創造館(約 800 席)やアミカホール(約 300 席)と同規模のホールの稼働率は、概ね 50%~60%となっています。
- ・稼働率と施設の充足度に係る考察はありませんが、戦後 70 年が経過し、国民の生活が豊かになった我が国では、自己実現や趣味、余暇活動としての様々な文化芸術を享受できる環境にあり、市民の文化芸術ニーズに応じたこのような施設の整備は既に成熟した状況にあるといえます。
- ・今日的にも施設の老朽化や機能集約等に伴う施設の建て替えや更新はあるものの、絶対的な機能不足による施設整備は極めて少ない状況であると考えられます。
- ・このような社会背景の中、本調査の結果を踏まえると 50%~70%の稼働状況であれば、市民の日常的利用に対し、不足は生じていないと考えられます。
- ・創造館のホールは、草津市への移管に伴う自主事業の減少を考慮すると稼働率は約 55%、アミカホールのホールも 64.5%の稼働率であり、いずれも全国平均と比較して大きく乖離している訳ではありません。
- ・このような状況から、草津市内におけるホール機能についても、絶対的な機能不足が生じているとは言えず、市民の日常的利用に対し問題はないと考えられます。

表一全国におけるホールの稼働率(H18年度) 上欄：ホール数 下欄：稼働率(%)

	合 計 平 均	北海道 地 区	東 北 区	関東甲 信越静 地 区	東 北 海 陸 地 区	近 畿 地 区	中 国 四 地 区	九 州 地 区
2000名～	52 67.5	3 61.3	5 60.4	17 75.0	7 61.8	8 71.4	7 71.6	5 70.8
1500～1999	110 60.3	4 57.9	11 59.6	35 68.1	16 59.9	14 54.5	13 58.8	17 63.3
1000～1499	369 47.4	13 36.1	47 51.9	136 57.3	50 47.8	43 51.6	32 42.5	48 44.6
500～999	550 51.4	20 49.6	59 54.6	150 57.8	81 47.2	74 48.5	74 47.3	92 55.1
499以下	679 56.8	30 51.0	71 55.5	214 63.7	92 56.9	116 58.4	67 52.2	89 60.2
全体の合計 平均	1,760 56.7	70 51.2	193 56.4	552 64.4	246 54.7	255 56.9	193 54.5	251 58.8



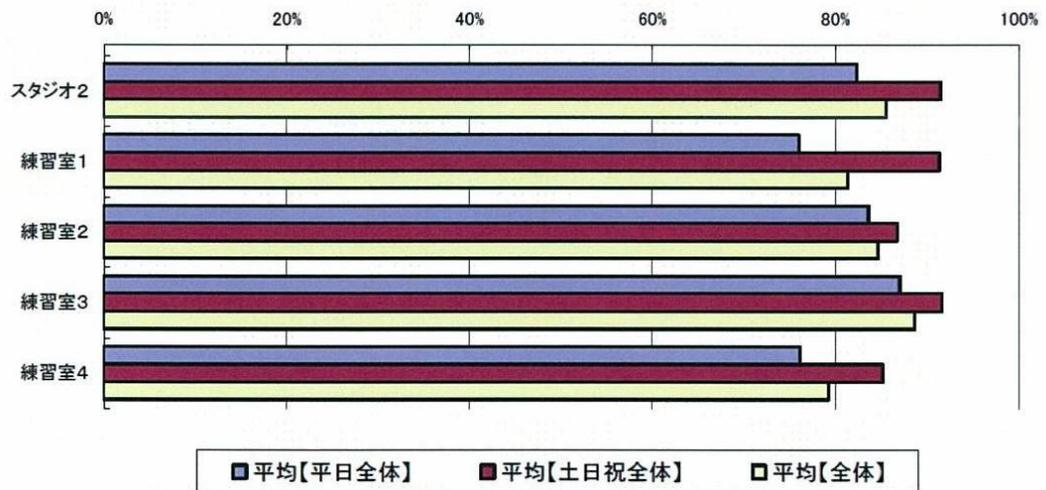
## ② 練習室機能に係る検証

### 市民ニーズに応じた練習室機能を確保

- ・草津市21世紀文化芸術推進協議会との意見交換では、練習室に次のような機能が求められています。

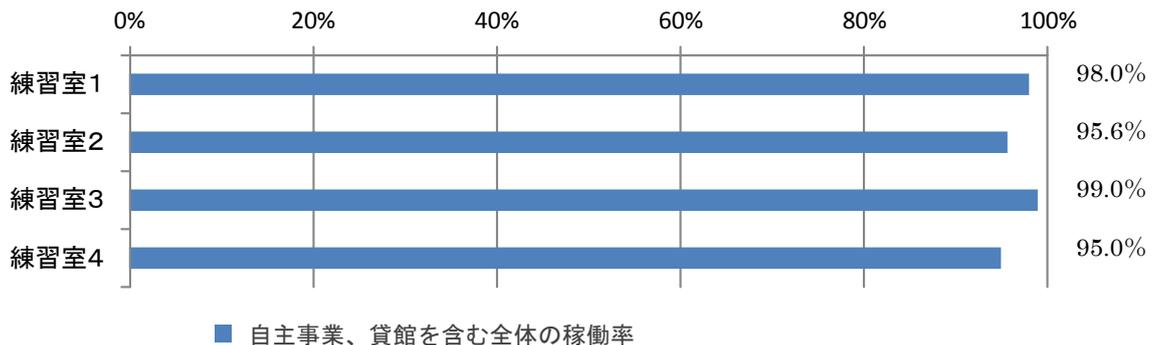
- ・多様な大きさの練習室（大200㎡、中100㎡、小50㎡）の整備
- ・防音機能※が備わり、音楽練習以外にも多目的に活用できる施設の整備
- ・グランドピアノ等の設備を備えた練習室の整備 等
- ※外への防音に加え、居室内の音の響きにも留意することが必要

- ・近隣の類似施設における練習室の稼働率をみると、概ね80%～100%に近い状況となっています。これらの施設では、居室内の音の響きも含めた防音機能や音楽関連の設備などが充実している他、安価な利用料金、柔軟な利用時間の設定など、利用者ニーズに応じた運営が行われており、これが高い稼働率に繋がっている要因と考えられます。
- ・このように、練習室の需要は、非常に高いものがありますが、施設や設備の内容が稼働率に大きく影響すると考えられることから、市民ニーズに応じた機能を備えた練習室を確保していくものとします。



グラフスカイプラザ浜大津の練習室の稼働率（H21年度）

（出典：大津市）



■ 自主事業、貸館を含む全体の稼働率

グラフー栗東芸術文化会館さきらの練習室の稼働率（H23年度）

◆スカイプラザ浜大津 及び近隣類似施設の練習室

スタジオ 2 150 m<sup>2</sup>



合唱、吹奏楽、管弦楽等の音楽の練習を中心としたフローリングフロア（床板張り）のホールスタジオ。  
ダンスやエアロビクスなどの利用可能。

練習室 1 52 m<sup>2</sup>



バンド、アンサンブル等のグループ毎の練習や演劇練習に適した練習室。

練習室 2 30 m<sup>2</sup>



合唱や器楽の小アンサンブル等のグループ練習や演劇練習に適した練習室。

練習室 3 16 m<sup>2</sup>



バンド、ギター、ベース、ドラム等の個人練習に適した練習室。

練習室 4 40 m<sup>2</sup>



声楽や器楽のアンサンブル等のグループ毎の音楽・演劇の練習に適した練習室。

◆栗東芸術文化会館さきら

練習室 1～4



練習室 1、2：個人や少人数での楽器・声楽等の練習のほか、演劇の台本の読み合わせ等に適した練習室。

練習室 3、4：正面の壁がすべて鏡張りであり、バレエやダンスの基礎練習に適した練習室。練習室 4 は大中ホールの舞台と同様の広さがあり、本番に備えた演劇の稽古や楽団などのリハーサルにも利用可能。

◆しが県民芸術創造館

リハーサル室 142 m<sup>2</sup>



しが県民芸術創造館においても、市民ニーズに応じた機能（居室内の音の響きも含めた防音機能や音楽関連の設備などの充実）を備えた練習室を確保していきます。

練習室 1 90 m<sup>2</sup>



練習室 2 42 m<sup>2</sup>



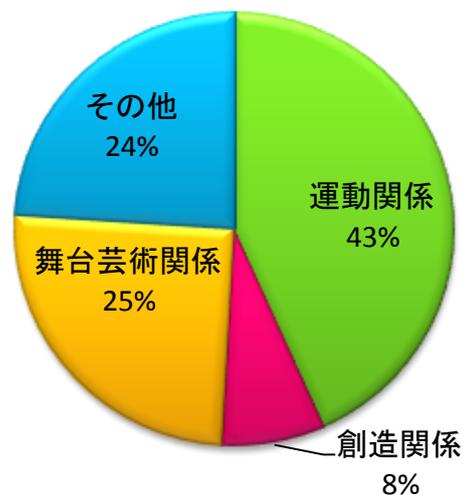
練習室 3 42 m<sup>2</sup>



### ③ 展示機能（収納庫含む）に係る検証

#### 草津市美術展覧会等に対応できる展示機能を確保

- ・草津市美術展覧会等は、市役所2階特大会議室で行われています。
- ・しかし、照明等の設備が不十分であり、美術展覧会の会場として適していないことから、草津市美術展覧会にも対応できる展示機能（約600㎡程度）を確保します。
- ・ただし、しが県民芸術創造館等の既存施設の利用実態から、展示機能だけでは、稼働率の高い効果的な利用が見込めないことから、パーティションなどで区切るものとし、多用途・多目的に利用できる施設として整備していくものとします。
- ・一方、草津市21世紀文化芸術推進協議会美術協会から創作活動できる部屋（2～3部屋）や子どもの絵画教室等（週2回程度）を行える部屋が欲しいとの要望があります。
- ・草津市内にある全ての公民館自主教室の平成24年度における利用実態をみると、絵画・工芸等の創造関係に係る利用は、全体の約8%程度となっています。
- ・このように、絵画・工芸に係る利用実態は、他の運動関係や舞台・芸術関係に比べ、少ない状況であり、絵画・工芸等に特化した機能のみでは稼働率が上がらず、非効率な施設になることが想定されます。
- ・このため、絵画・工芸室等については、その他の多様な利用も考慮した多目的室として、上記展示施設をフレキシブルに活用する形で確保していくものとします。



グラフー草津市内公民館自主教室の利用実態（H24年度）

### (3) 機能配置の検討

#### ① ホール機能

##### しが県民芸術創造館の大ホールを改修

- ・ホール機能については、しが県民芸術創造館の大ホールを利用者ニーズに応じたものに改修していきます。

#### ② 練習室機能

##### しが県民芸術創造館の既存練習室、展示室やリハーサル室を多目的に活用できる練習室に改修

- ・しが県民芸術創造館は、施設内容や利用実態からみて、特に音楽や舞台などの練習・発表に特化した施設です。また、同施設の展示ホールやリハーサル室は、他の施設に比べ、稼働率が低い状況にあります。
- ・このため、練習室は、しが県民芸術創造館の既存の練習室や展示ホール、リハーサル室を活用して整備します。
- ・既存の練習室の防音改修やグランドピアノ等の設備の充実により機能を確保すると共に、会議や研修など、多目的に利用できる空間として整備します。
- ・展示ホールは、舞台等と一体となった展示の需要があるため、既存の機能を保持した上で、防音機能のある間仕切り等により、多目的・多用途に利用できる空間として整備します。リハーサル室についても同様とします。

#### ③ 展示機能（収納庫含む）

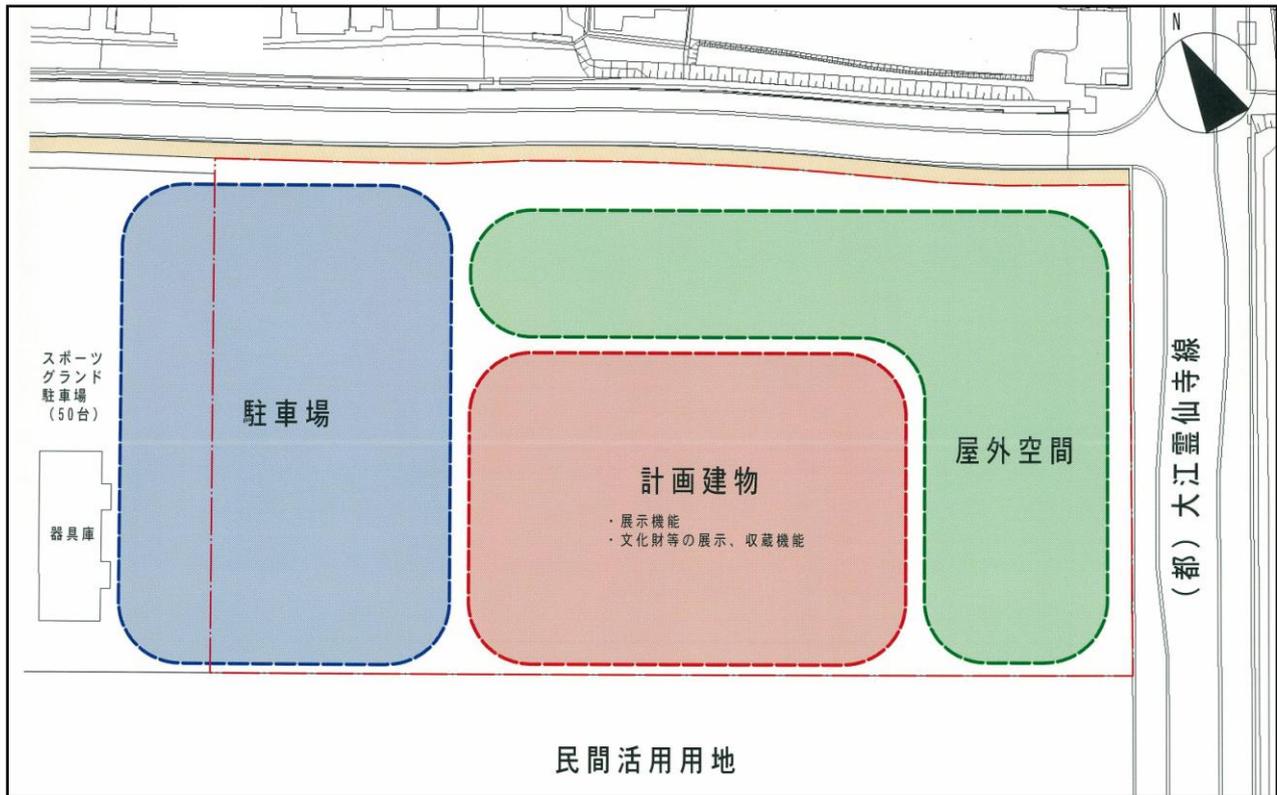
##### 草津市美術展覧会等に対応する他、多目的に活用できる展示機能を三ツ池で確保

- ・しが県民芸術創造館の展示ホールの稼働率は、他の施設に比べ極端に低く、規模的制約（約600㎡が必要）から、草津市美術展覧会等にも対応できません。
- ・また、施設の構造面等から、しが県民芸術創造館の展示ホールを草津市美術展覧会等にも対応できる施設に改修していくことは困難な状況です。
- ・三ツ池で整備する歴史伝統館と展示機能を一体的に整備することで、来館者が本来の目的以外のものに触れる機会（美術・工芸の観賞を目的に訪れた人々が、地域の歴史・文化に触れる機会など）を創出することができ、施設の効果的な運用や芸術文化に関わる人づくりに相乗的な効果を発揮することが期待できます。
- ・このため、展示機能（約600㎡）は、三ツ池での整備を検討していきます。
- ・ただし、展示機能は、単体で稼働率の高い効果的な利用が見込めないため、多目的に利用できる施設として整備していくことが必要です。
- ・展示機能については、間仕切り等により、絵画や工芸、その他の多目的な利用にも対応できるフレキシブルな機能も持った施設としての整備を検討していきます。

### ◇三ツ池のロケーション

三ツ池の周辺には野池や頓蓮池、草津川などの水辺空間が位置する他、南側は市街化調整区域で、農地を中心とした豊かな自然環境が広がるなど、文化活動に適したロケーションが広がっています。





三ツ池 整備イメージ